

館内案内

■新館

○常設展示室 龍馬の生涯や活躍を様々な資料を通して紹介しています。



常設展示室



常設展示室

○ジョン万次郎展示室

漂流後アメリカ捕鯨船員となり、西洋文化や英語を体得し、自力で帰国したジョン万次郎に関する資料を展示しています。



ジョン万次郎展示室

○企画展示室

様々な切り口やテーマで、坂本龍馬や幕末維新に迫る企画展を年4回開催いたします。

■本館

体験型展示「幕末広場」では、映像や音声で、龍馬と彼が生きた幕末について、楽しく知ることができます。「幕末写真館」では幕末の主な人物を写真で紹介しています。土佐の海と空を眺めることができる屋上やオリジナルグッズの並ぶミュージアムショップもあります。



龍馬が暗殺された近江屋の部屋を復元展示。座敷で記念撮影もできます。



屋上



ミュージアムショップでは当館オリジナル商品もお買い求めいただけます。



アニメーションで西郷隆盛と桂小五郎が対談する「薩長同盟」(幕末広場)

海の見える・ぎやらしい

本館2階“海の見える・ぎやらしい”では、企画展に関連することや龍馬や幕末について、パネルや写真での展示を行います。太平洋の眺望も楽しめます。



利用案内

開館時間 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分)

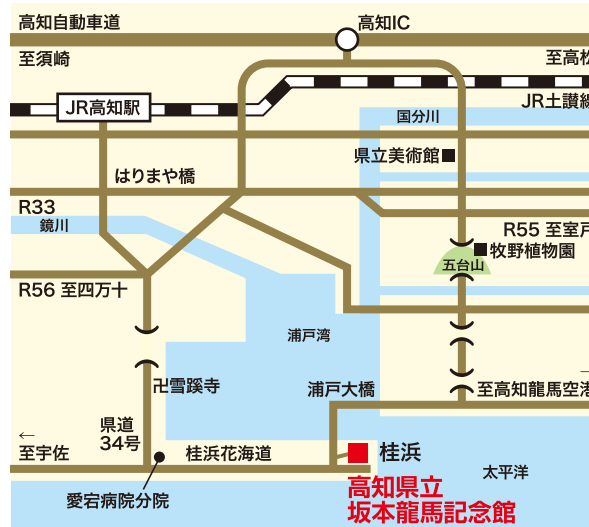
休館日 年中無休

観覧料 一般(18才以上) 企画展開催期間/700円
展示替の期間/500円
団体(20名以上) 企画展開催期間/560円
展示替の期間/400円
高校生以下無料

◆以下の手帳をお持ちの方(ご本人様)は無料となります。

- ・高知県または高知市の長寿手帳
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳と介護の方1名

案内マップ



- 駐 車 場 普通車42台(うち障害者専用駐車場2台)・バス4台
- 交通機関 とさでん交通バスまたはMY遊バス「桂浜」行き「龍馬記念館前」下車徒歩2分

高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum
〒781-0262 高知市浦戸城山830
TEL (088) 841-0001 FAX (088) 841-0015
<https://ryoma-kinenkan.jp>

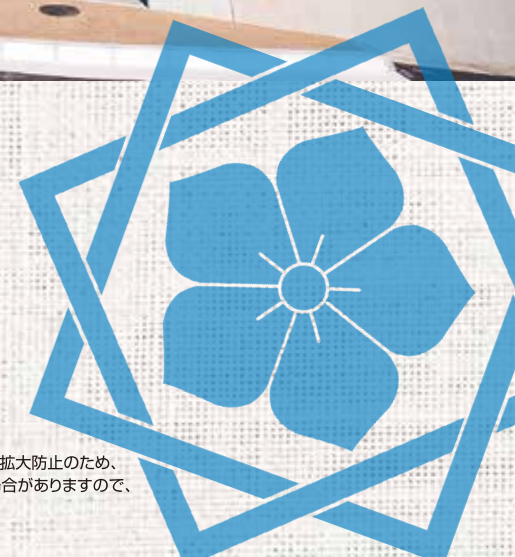
高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

ミュージアムカレンダー

Museum Calendar

令和3(2021)年4月 - 令和4(2022)年3月

開館
30th
anniversary



*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止や変更をする場合がありますので、あらかじめご了承ください。



企画展

★会期中には講演会や展示解説を開催する他、当館公式YouTubeやfacebookでも解説や資料紹介などの情報を提供いたします(随時更新)。

「龍馬の知恵袋 福井藩」展

●4月4日(日)まで 開催中

「海援隊士・高松太郎」展

●4月17日(土)～6月22日(火)

平成29年度に寄贈された、龍馬の甥・高松太郎(坂本直)の資料から17点あまりを紹介。箱館裁判所での勤務、維新後の海援隊関係者との交流などを読み解き、坂本家と縁の深い高松家の資料とあわせて展示、紹介します。慶応2年3月8日高松太郎宛龍馬書簡(竹村脩氏蔵)も展示を予定しています。



高松太郎(安田町教育委員会所蔵)

- 安田町バスツアー 5月23日(日)
- 担当学芸員による展示解説 4月24日(土) 6月19日(土) 14:00～

「坂本龍馬記念館の軌跡 一出会いの奇跡をたどる」展

●7月6日(火)～9月14日(火)

当館は11月15日に開館30周年を迎えます。平成3年の開館以来、NHK大河ドラマ『龍馬伝』の放送や新館建設など、大きな節目の年には重要な資料が発見されてきました。それらの資料がどういった経緯で所蔵者に受け継がれ、当館への収蔵に繋がったか、当館の軌跡を振り返りながら、資料や所蔵者との奇跡的な出会いを紹介します。

- 記念講演会
- 担当学芸員による展示解説



【展示資料】 令和元年に龍馬の甥・坂本直寛の子孫より寄贈された龍馬の佩刀「備前長船勝光宗光」(当館所蔵)

特別展 「龍馬と北の大地」展

特別展「龍馬と北の大地」展は、蝦夷地をめぐる龍馬の“新国家”構想を紹介する(第一部「蝦夷地へのまなざし—龍馬と幕末の志士」と、その志を引き継ぐように北海道に渡った坂本一族の一人、農民画家・坂本直行を紹介する(第二部「北海道で“龍馬”生きる—チョッコウさん再び」)で構成します。

第一部 「蝦夷地へのまなざし—龍馬と幕末の志士」

●10月5日(火)～12月3日(金)

江戸時代人のさまざまな“蝦夷地へのまなざし”を取り上げます。幕末以前の蝦夷地観をはじめ、同時代を生きて龍馬の蝦夷地への思いに影響を与えた人物の履歴や龍馬との関係を紹介。その上で、龍馬が抱いた蝦夷地への思いに迫ります。

- 記念講演会
- 担当学芸員による展示解説

【展示資料】龍馬の蝦夷地開拓構想に影響を与えた北添信磨(土佐藩出身)が、当時随一の“蝦夷地通”松浦武四郎に宛てた書簡(松浦武四郎記念館所蔵重要文化財)



第二部 「北海道で“龍馬”生きる—チョッコウさん再び」

〈前期〉12月16日(木)～2月6日(日)
〈後期〉2月10日(木)～4月3日(日)

昭和初期に過酷な十勝原野に開拓者として入植。子孫として龍馬を語ることなく、龍馬の言う「万物の時を得るをよるこび」「是れが地を開く」を体現した男・坂本直行を紹介します。厳しい開拓生活の傍ら描き、今なお多くの人に愛される直行の絵も15年ぶりに多数展示します。

- 記念講演会
- 担当学芸員による展示解説

【展示資料】「初冬の日高連峰」(油彩・キャンパス)(中札内美術庁所蔵)



当館収蔵龍馬真筆常設展示(予定)

展示期間	資料内容
4月5日(月)～6月22日(火)	文久3年秋頃 坂本乙女・春猪宛
6月23日(水)～7月5日(月)	慶応3年10月13日 後藤象二郎宛草案
7月6日(火)～9月14日(火)	開館30周年記念・当館収蔵の龍馬真筆書簡全点展示
9月15日(水)～10月下旬	慶応3年11月13日 陸奥宗光宛

10月以降の〔龍馬真筆書簡展示予定〕についてはホームページ等でご確認ください

当館は龍馬真筆となる書簡などの資料を7点収蔵しています。常に、1点をご覧いただけるよう、展示替えをしながら、ご紹介しています。

*変更になる場合もありますので、事前にホームページ等でご確認ください。

特別展示 開館30周年記念 龍馬真筆書簡特別展示

龍馬の真筆書簡は約100通現存するといわれますが、それらは全国各地に所蔵されており、当館で展示する機会は多くはありません。開館30周年を迎える本年、記念事業のひとつとして、当館での初展示となる龍馬真筆書簡を展示する予定です。(詳細は決まり次第、チラシ、ホームページでお知らせいたします。)

イベント

※内容詳細は、各イベントのチラシ、ホームページでご確認ください。開催日の約1～2ヶ月前に配布、更新いたします。

連続講演会 「龍馬 5つの真実(仮称)」

- 日時 6、8、10、12、2月の各月1回
- 場所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール
- 定員 50名(要事前申込)
※詳細はチラシ等をご確認ください

当館の開館以来30年間に発表された、坂本龍馬や幕末に関する新たな研究成果や視点について、5回の講演会でご紹介いたします。講師は県内外の研究者です。

夏休み 「とさっこ 幕末ツアー」

- 日時 8月1日(日) 9時頃集合 16時頃解散(予定)
- 定員 20名程度(親子10組程度)
- 対象 小学校4年生以上～中学生
*申し込み 6月下旬から申込受付(予定)

坂本龍馬や幕末維新をテーマに、関連する県内の史跡や博物館をバスで巡り、「調べる」「考える」「表現する」ことを体験する、「学びの場」としてのイベントです。

夏休み 「りょうま 工作教室」

- 日時 8月7日(土)
- 場所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール(予定)
- 定員 20名程度
*申し込み 7月上旬から申込受付(予定)

歴史や龍馬への関心を深める工作教室を開催します。

龍馬まつり in 記念館

11月14日(日) *予定

多くの方に坂本龍馬記念館を楽しんでいただける、多彩なイベントを開催します。

龍馬記念館 開館記念日 (入館無料)

11月15日(月)

龍馬の誕生日、そして当館の開館記念日である11月15日を無料開館日とします。どなたも無料でご入館いただけます。



◀昨年のウォーキングイベント

ウォーキングイベント 史跡巡り

- 日時 12月5日(日) *予定
- 参加費 2,000円程度(保険代、昼食代等)
*別途交通費がかかる場合があります
- 定員 20名程度 *事前申込・先着順
県内の史跡をゆっくり歩きながら見学し、新たな発見や学びを楽しんでいただく、歴史ウォーキングイベントです。(場所未定)